

『鳥取市定住促進・Uターン相談支援窓口』を開設しました

近年、関西圏や首都圏などの都市部に住んでいる人々を中心に、田舎暮らしやU・J・Iターンを希望する人が増えています。

本市では、人口増加対策本部を設置し、「人口が増加していく住みよいまちづくり」を推進するための各種施策を全市あげて取り組むこととしており、その主要施策として団塊の世代を中心に帰鳥・移住、U・J・Iターンを促進することとしています。この取り組みの一環として、9月1日に「鳥取市定住促進・Uターン相談支援窓口」を開設しました。この窓口は、U・J・Iターンを希望する人に対し、行政機関の支援制度や住宅・就業・生活に関する情報を総合的に提供するとともに、各種相談をお受けします。また、登録を希望する人については、引き続き関連情報を提供していきます。

フリーダイヤル

0120-567-464 (専用電話)

ホームページ

鳥取市公式ホームページ <http://www.city.tottori.tottori.jp/> に、「定住促進 (U・J・Iターン)」のメニューを開設し、関連情報を掲載しています。

■問い合わせ先 市役所本庁舎地域振興室
☎ (0857) 20-3184



鳥取市定住促進・Uターン相談支援窓口の概要

▷設置場所 市役所本庁舎3階 地域振興室

▷業務内容

- (1)市役所におけるU・J・Iターンに関する情報を集中管理
- (2)U・J・Iターン希望者の相談の受付・対応

【提供情報】 ①交流・体験情報 (田舎暮らし体験、市民農園、観光・イベントなど) ②不動産情報 (空き家、住宅、分譲地など) ③就業情報 (就職、開業、就農など) ④生活情報 (学校、病院、公共施設など)

▷受付時間 平日の午前8時30分～午後5時30分

鳥取城跡の保存整備実施計画を検討中です



ありし日の鳥取城 手前から撥宝珠橋・中ノ御門・太鼓御門

本市では、昨年、鳥取城跡の長期的な保存整備の方針を示す「史跡鳥取城跡 附 太閤ヶ平保存整備基本計画」を策定しました。この「基本計画」は、久松山の山城群を含む鳥取城、および戦国時代に羽柴 (豊臣) 秀吉が鳥取城攻めに際して築造した本陣 (基地) である太閤ヶ平について、保存・整備・利活用を進めていくためのもので、建造物の復元も含め、近世城郭・鳥取城の全体像を目に見える形で整備するとともに、太閤ヶ平や久松山中に80力所以上残されている戦国時代の山城跡の調査・保存も視野に入れていきます。

今年度は、今後概ね10年間の事業計画を、「史跡鳥取城跡保存整備実施計画」として検討しています。

その内容は、専門家と市民で構成される委員会を検討を行うとともに、市民政策コメントなどで広く意見を集めて検討を進めていきます。検討委員会は専門家による大手筋整備基本設計検討部会・調査計画検討部会と、市民を中心とした利活用検討部会の3つの部会で構成され、それぞれに意見交換を行いながら、来年度以降の事業着

■問い合わせ先 市役所本庁舎文化財課
☎ (0857) 20-3367

手に向けて計画を策定します。

8月11日には1回目の大手筋整備基本設計検討部会を、また、9月5日には同じく1回目の利活用検討部会を開催しています。大手筋整備基本設計検討部会では、鳥取城の江戸時代の正面玄関である「大手筋」の、橋や門・門櫓などの建造物や全体の景観復元に向けた方針が検討されました。利活用検討部会では、鳥取城跡を紹介するパンフレットの作成や、利活用を進めるための具体的な方法が検討されています。

鳥取市中心市街地のシンボリック存在であり、昨年日本100名城 (日本城郭協会) にも選定された鳥取城の整備は、市民とともに一歩ずつ進められています。

「史跡鳥取城跡保存整備実施計画」の主な内容

- ①「基本計画」において第1期整備となっている大手筋 (登城路) の整備基本設計
- ②鳥取城及び関連遺跡の調査計画
- ③鳥取城の利活用のルール・方針
- ④史跡の保存管理の具体的な方針